

整地・運搬・積込み用機械を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種 (小)	事故の型	労働者規模
2017	1	16～ 17	工場でバックホーでバケットの移動している時、バケットと地面の間に左足が挟まり、左足親指骨折および左足擦傷を負った。	62	11702	7	1～ 9
2017	1	9～ 10	鉄板を仮置きするため、4tダンプの荷台から道路脇の法面に移動した。鉄板の一面が地面に設置した際にフックから鉄板が外れ鉄板と4tダンプの間に挟まれた。	51	30110	5	1～ 9
2017	1	13～ 14	既設コンクリート擁壁をエンジンカッターにて切断し、BHにて撤去作業中、擁壁をBHにて引いたが倒れなかったため、被災者に合図をせずに擁壁が動くかどうか確認するため、BHにて押したところ、転倒し被災者の左足膝下に擁壁が倒れた。	61	30106	5	—
2017	1	14～ 15	ブロック撤去現場にてトラックに積み込むために重機のバケットにコンクリガラを積み重機を旋回しようとしたところ、積んであったコンクリガラが落下し、左足に当たってしまった。	41	150102	4	10 ～ 29
2017	1	16～ 17	整備工場でバックホウを整備中降りる際に、右足をついたときに膝裏に痛みがはしり、バランスをくずし転倒してしまった。	67	11701	19	10 ～ 29
2017	1	9～ 10	外構工事施工中、駐車場の整地を小型重機で作業している所、重機の送行に支障がある道具をどけようとした際、重機がバックして来て、右足甲を踏まれ倒れた際、右足首を骨折した。（当日のみ応援で現場に行ったものである。）	44	60101	6	—

2017	1	16~ 17	除雪機格納庫でトラクターショベル後方上部のミラー交換後、降りる時に足を滑らせ約1.5mの地上に落下した。	43	80409	1	1~ 9
2017	1	18~ 19	客先の除雪用重機（ホイールローダー）に軽油を給油するため出向いた。複数の重機が隙間なく停車してあったので、移動のために重機のバケット上を歩いたとき、バケット上で滑って、とっさに地面に下りたら、右足の足首から下をひねるような形となり負傷した。	64	80204	3	1~ 9
2017	1	9~ 10	解体工事現場で解体作業中、トラックの後ろの扉を閉めようとしたところ、重機がバックをして来てキャタピラーに右足を轆かれた。	36	30209	6	1~ 9
2017	2	3~4	構内道路をホイールローダーで除雪している際、バケットが道路を横断しているグレーチングに引っ掛かり急停止し身体が前に投げ出され、フロントガラスに頭部をぶつけた。	63	11403	3	300 ~ 499
2017	2	14~15	災害復旧の為の護岸修復作業中、水の流れを一時的に切り替える為の樋と樋を接続する為の特製ビニールシートを設置しようとして水の流れが強かったため、作業に手間取りユンボで樋を押す作業の人間とタイミングが合わず、手を放す前に樋が押されたため、樋と樋の間に指を挟み負傷した。	62	30107	7	1~ 9
2017	2	10~11	油圧ショベルカーのファンベルト調整中、機械装置の上（高さ60cm位）に乗り力を入れてベルトを張った際空振りして転倒し、左手首を負傷した。	60	170101	1	1~ 9
2017	2	13~14	水路工事現場で、トラックの荷台にユンボで鋼材を積み込む作業をしていて、ユンボのバケットに吊すため鋼材に引っ掛けてあるクランプを外そうと、鋼材の上に乗って移動したところ、バケットに頭部をぶつけ、ずれたヘルメットで鼻頭を打ち、首に衝撃を受けた。後ろにのけ反って倒れそうになったので、倒れないように体を支えようとして、足首を捻った。	53	40301	3	1~ 9
2017	2	10~11	造成工事の後片付けの為、鉄板をトラックに積込作業していた。クレーン式バックホウで吊り上げたところバランスを失い、バックホウのアームに手を強打した。結果、右手小指付根を骨折した。	49	30199	3	—

2017	2	11~12	構内駐機ヤード内にてSK1000DセパレートATT油圧ホースへ飛散防止ガード装着作業2名にて実施中、機械本体から下りる際にクローラフレームのステップを利用して降りたが、足を踏み外してそのまま落下し腰を強打し救急車にて搬送された。	32	11702	1	10 ~ 29
2017	3	16~17	製油の除染作業中、山砂の敷き均し作業時に、山砂の配置をするため不整地運搬車を使用した際、梨の木の間を通り抜けようとしたところ、枝が邪魔になり体を左に大きく傾け通過しようとしたところ、バックで後ろ向きでの操作だったため、梨の木の幹の部分に気づかずバックしたところ、幹と不整地運搬車の手すり部分に顔面がはさまれた。	45	30309	3	50 ~ 99
2017	3	16~17	構内で作業中、バケットから下りようとしたとき、手元が滑り右足から滑り落ち、右足を捻った。	31	150102	1	100 ~ 299
2017	3	11~12	車両系建設機械油圧ショベル（重機）のクーラント液（冷却液）を補充する際、ラジエターが冷える前にフタを開けてしまい、沸騰した液が飛び出し、手の甲にふれて火傷を負った。	50	150102	11	10 ~ 29
2017	3	9~10	造成工事現場から次の現場へ2トンダンプで発電機を取りに行き、現場の置場でバックホー（移動式クレーン）でダンプの荷台に発電機を降ろし、発電機の玉掛けをはずす際に前かがみになったところ、オペレーターの視野に被災者が旋回した為、バックホーの法面バケットを右肩と左太腿に当てて被災した。	46	30109	6	1~ 9
2017	4	11~12	仮締切内1段支保工下の二次掘削箇所、仮締切鋼矢板に付着した土べら落としをしているときに、地上から掘削中の0.7?ロングアームバックホウのバケットと仮締切鋼矢板の間に入ってしまい、被災者の右足がバックホウのバケットと仮締切鋼矢板の間に挟まれ被災した。	25	30107	7	30 ~ 49
			道路の道路表面に敷き込んでいた原石ズリ（敷き込み厚さ4m）を				

2017	4	14～ 15	回収する業務中、法肩に履帯が平行になるように停車し、ダンプトラック（CAT777）への積み込み作業を開始し、2台目のダンプトラック（CAT777）に積み込みを行うため旋回をしている途中で、バックホーが停止していた法肩が崩れ、約9m下のベンチに転落・横転した。	44	20201	1	30 ～ 49
2017	4	14～ 15	圃場でキャベツの収穫作業中、コンテナにキャベツを入れ終わり、タイヤショベルカーの運転手がショベルカーの右側にいた被災者に気づかず発進し、右タイヤで被災者の左足をひいてしまい、左足指全部の筋がつぶれた。	28	60101	7	10 ～ 29
2017	5	16～ 17	資材置場にて壊したコンクリート片を潰して一定量溜めてトラックに積む作業をしている時に、積み込み機械の旋回範囲内に作業員が入りコンクリート片に支柱が付いたものがバケットからはみ出していて、作業員の服に引っ掛かり、転倒したところにあったU型のコンクリートにぶつかり、腕を負傷した。	58	30199	2	1～ 9
2017	5	8～9	林道の崩土集積及び搬出する際、タイヤショベルにて崩土を集積作業中、一旦集積後、タイヤショベルをバックするときに後方確認を十分しないままバックした為、路肩より重機と共に約2m下に転落した。	52	30309	1	1～ 9
2017	5	16～ 17	農道拡張工事による残土整地中、農道中央にあるバックホーの横を右側よりすり抜けようとしたところ突然バックホーが前進し、左足をキャタピラに轢かれる。	73	30199	7	10 ～ 29
2017	5	14～ 15	バックホウ（0.15?）を使用し、駐車場の碎石敷き作業を行っていたとき、作業員はバックホウの後方で敷き均しを行っていたところ、オペレーターは作業員に気付かずにバックしたため、作業員の右足を轢いた。	22	30109	7	1～ 9
			本人の家の古い墓地が小高い山の上であり、お墓の撤去をするために、運搬車（トップカー）を通す必要があり、道幅が狭いため道をひろげるのに、自宅より本人所有の古いバックホーを使用した。山				

2017	5	10～ 11	側を少し削る予定だったが道幅が50cm位しかなく、急坂な事と、路面の凹凸もひどく谷側の地面もずいぶんもろいため作業開始からしばらくして、バックホーごと縦に転がったが、本人は投げ出され、下敷きにならずに済んだ。	64	30106	2	1～ 9
2017	5	9～ 10	生コン工場敷地内で、大型コンクリートミキサー車のミキサードラム内に付着したコンクリートを除去する際、ミキサー車の横につけたホイールローダーのバケツに乗ってミキサー内に工具を入れようとした時、ホイールローダーのバケツと腕部の隙間に左手を挟んで負傷した。ホイールローダーのバケツを固定するストッパー部分が摩耗して遊びができていた。	52	10901	7	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	当社堆肥舎で、ボブキャットに乗りバケツを操作しながら堆肥を混ぜる作業をしている時に、突然ボブキャットが前に傾いたため、ボブキャットから降りようと右足を出したところ、傾いていたボブキャットが元の状態に戻ったと思ったが、バケツが下降してきて、降りようと出していた右足の膝下を、ボブキャット本体とバケツとの間に挟んでしまった。	19	70101	7	1～ 9
2017	6	7～8	自社給油スタンドでの給油後、給油カードを事務所に返却するために助手がモーターグレーダーより降りて事務所に返却しに行っている間に、被災者が所用の為にキャビンより降りた際に足を滑らせて転落し、失神しているのを助手が発見したものである。	33	30199	1	30 ～ 49
2017	6	13～ 14	碎石工場で、積み込み用重機（ホイールローダー）から降車する際、着地時に足を挫き骨折した。	63	20201	1	50 ～ 99
2017	6	12～ 13	採石場で昼の休憩時、パワーショベル（CAT3458）の操縦室に置いていた弁当を取りに行き、車体のキャタピラ（高さ110cm）に登り操縦室に入ろうとしたところ、誤って背中から転落した。意識はあったが歩行困難な状態だったので、対岸まで運び救急車で病院に	69	20201	1	1～ 9

			搬送した。				
2017	7	17~18	当社のリサイクル事業場において、タイヤショベルのエッジを反転するため、ボルト取り外し作業中、ボルトが折れ、重さ10kgのエッジが高さ約50cmより右足甲に落下し負傷したものである。	63	150102	4	10 ~ 29
2017	7	13~14	土場で石炭積込作業中に石炭の中の異物をふるいにかける機械に接触して重機の手すりが曲がり、それを直すために外へ出た所、運転席より2mくらい下に落下したがそのまま仕事を続けていた。後程、土場に来た人に病院に行くよう言われた。	56	50209	1	10 ~ 29
2017	7	16~17	プラント構内で、構内の重機が後退してきて、自社の大型ダンプの後方に衝突した。その際の衝撃により、むち打ち・打撲となり痛みが出た。	46	40301	6	10 ~ 29
2017	7	10~11	納入予定の建設機械の運搬作業中に、建設機械を中型トラックに積み込む際に横滑りし、重機が転倒しそうになり、被災者が転落し、地面に転倒して足を負傷した。	46	30199	1	1~ 9
2017	7	8~9	プラントのコンクリート工場にて、竹ぼうきで掃除中、後ろから小型ユンボのバケットが背中に当たった。	58	20201	6	10 ~ 29
2017	9	14~15	営業所の洗車場で午後にブルドーザーの洗車をしているときに足を滑らせて、排土板に右足のヒザをぶつけ、ヒザの皿にヒビが入った。	73	80409	6	1~ 9
2017	9	18~19	都内駐車場アスファルト撤去工事から当社に戻り、現場で使用したパワーショベルのバケットを、盛り土（50cm程度：バケットの収納場所）の上に被害者（下請会社社員）が外し終え、地面にとび降りたところ、転倒してしまい、かつ地面に背面を強打したうえ、同時に収納場所へ移動を開始した当該重機（外注社員操縦）のキャタピラに轢かれ右腕等を受傷したものである。	45	30309	7	1~ 9
2017	9	11~	資材置場にて片付け作業中に、重機0.1Rバックホーから降りようと	34	30209	1	1~

		12	した際に肩から1m程落下、その衝撃で脱臼した。					9
2017	9	8～9	現場で車庫土間コンクリート打設作業中、擁壁の上から重機で生コンを掬っては入れる作業を繰り返していた時、生コンを入れ終わりオペレーターが重機を旋回しようとしている所に、今までしゃがんで作業をしていた本人が急に立ち上がり、それにびっくりしてオペレーターが重機のレバーに肘がつかえ、バケットが左右に振れ本人に当たり擁壁とバケットに挟まれたものである。	58	30201	7		1～9
2017	9	13～14	同僚に連絡事項を伝えるため、ショベルローダーの運転台にあがろうとして、いそぎ足でタラップの手摺りを右手でつかみ、1段目に右足を掛け次に2段目に左足を掛けようとした時、誤って左膝関節部が2段目のタラップの角に当たり、左膝関節部を打撲捻挫した。	62	40301	3		50～99
2017	9	17～18	2番船倉内でブルドーザーによる尿素的の掻き出し作業を行っていた時、突然ブルドーザーのクラッチオイルが噴いて被災者にかかり火傷をした。	68	50202	11		50～99
2017	10	11～12	本社倉庫内で積車に古いタイヤと新タイヤの積み換え作業中、タイヤショベルのバケットにパレットをのせての作業中、1人は積車中の作業、1人はタイヤショベルにエンジンをかけ、前進レバー入れ前進した時、クラッチペダルを滑らせ、はずみで積車の中の作業員にぶつかってしまった。左足に当たり骨折した。	51	40301	6		1～9
2017	10	16～17	土場内にて、おが粉の片付けをしている時に土場内にて同じくトラックから降ろしたおが粉の片付けをしていた大型重機（タイヤローダー）が一時的に停止した後、再び前進しようとしたところ、重機の前（重機の運転者からは完全な死角位置）にいた事から接触し、倒れた瞬間にコンクリート地面に後頭部を打ち付けたもの。但し、以上の記述については確たる目撃者がいないこと、また、本人以外に詳細な状況説明ができない事からあくまで推定状況として記述するものである。	67	80209	6		10～29
			本社工場の建屋内で、ばらけている産廃をひとりが板を用いて人力					

2017	10	14~ 15	<p>でまとめ、それをもうひとりがホイルローダーで別場所へ移動させる。これを交互に行う作業中に発生。被災労働者が人力で産廃をまとめる作業タイミングと、ホイルローダー搭乗者が産廃を移動させるタイミングが重なった。被災労働者は産廃だけに意識がいき視野が狭くなりホイルローダーの接近に気づかなかった。ホイルローダー搭乗者はバケット（ショベル）で被災労働者の姿がちょうど隠れていた。そのため運転席からは、被災労働者が見えなかった。そして、ホイルローダーバケット先端部が被災労働者の右腕に接触した。</p>	34	150102	6	30 ~ 49
2017	10	9~ 10	<p>指定残土捨て場において残土整地作業中、バックホーに乗り込む際足を滑らせ落下した衝撃で左足を負傷した。</p>	37	40301	1	1~ 9
2017	10	11~ 12	<p>墓石の解体中に出たコンクリートガラを二本の足場を引いた階段を重機を使い運んでいたところ、コンクリートガラが崩れ重機がバランスを崩し、階段下へ重機が落ちる寸前に、巻き込まれないように飛び降りた。この際に右肩から落ち負傷した。</p>	56	30199	3	1~ 9
2017	11	13~ 14	<p>資材置場において、同社所有のブルドーザーが後方に動き出し、後方にいた被災者がこのブルドーザーと、駐車してあった4tユニックトラックに挟まれ死亡していた。</p>	56	30106	7	10 ~ 29
2017	11	14~ 15	<p>道路改良工事の作業所内で歩道アスファルト舗装の撤去作業時に当社作業員の被災者は、当日撤去したアスファルトくず集積の折、当社重機オペレーターが操作するバックホー（0.13?）のバケットにて背中を押され負傷した。作業時オペレーターの周囲の確認と、重機作業範囲内立入禁止の周知徹底不足にて事故を招いた。</p>	16	30106	6	10 ~ 29
2017	11	8~9	<p>置き場において、BH0.4の始業点検時にドアの開閉をしている際、開閉の弾みにより左手指を挟んだ。</p>	62	30108	7	1~ 9
2017	12	9~10	<p>タイヤショベルで除雪を終えた後、降車しようとしステップを踏み外し床に肩を打ちつけた。</p>	63	60101	1	1~ 9
			<p>敷地内で、堆肥舎（旧）を車庫に改造するのに、壁に鉄板を張り付</p>				

2017	12	10~11	けるため、ビスを打ち込む作業を行っていた。作業は、ショベルローダー（CAT938）のバケットに現場作業員2人を乗せ、バケットを2~3mの高さに上げて行っていた。壁側は緩やかな傾斜（壁側が高い方）となっていた。バケットに乗っている作業員の1人が運転手にバケットを上を上げてほしい旨の合図を送ったところ、運転手はバケットが壁に近かったため一度後ろに下がりバケットを上げて前に出ようとした。しかし、後ろに下がる際に被災者がバケットから転落し、そのことに気付かなかった運転手がローダーを前進させる際に被災者を前方左タイヤで轢いてしまったものである。	64	170209	1	50 ~ 99
2017	12	5~6	屋内作業場よりハイド板付タイヤショベルを外に出す際、シャッター内側（強風破損防止）の縦に挿し込んでいた木材タルキを取り外す為ハイド板の上に登り取り外そうとしたが抜けなかったのでハンマーで叩いた拍子に滑ってコンクリート土間に落ち腰と肩を強打した。	61	10901	1	10 ~ 29
2017	12	14~15	仮設落石防護柵撤去中に、玉掛け作業員がバックホウの作業半径内に入って重機オペレーターと打ち合わせを行った後に、重機オペレーターと作業員の間で作業半径から離れたことに対して合図が明確になされておらず、重機オペレーターが重機を右旋回させたところ、重機本体と大型土のうの間に作業員の左下肢が挟まれ受傷した。	41	30106	7	1~ 9
2017	12	20~21	コンクリート工場の工場構内のミキサー車洗車場から別のミキサー車を取りに行く際、工場構内を被災労働者が横断している最中に、ペイローダーの運転者がバケットを上げて走行していた為、ペイローダーの運転者が当社被災労働者に気づかず、ペイローダーの前輪と後輪で轢かれ、被災労働者が死亡した。	27	40301	7	30 ~ 49
2017	12	9~10	駐車場改修工事にて、路盤材敷設作業中、バックしてきたバックホーに左足首を踏まれ負傷した。	17	30199	7	10 ~ 29

2017	12	13~14	<p>民間依頼の仕事でタイヤショベルが必要になり、他社から借りるために車に乗って取りに行った。タイヤショベルを借り、それに乗り林道を運転していたとき、バックしようとして後輪が滑り、谷側にタイヤショベルごと転落した（高さ1.5m位、半回転して横転）。なお、ヘルメットとシートベルトは着用していた。</p>	44	30199	1	1~9
------	----	-------	---	----	-------	---	-----

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html